【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
論理学	1	30	1	2学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
事実を正しく解釈表現する論理的思考について学び、看護における判断力を養うとともに自己の考えを文章や言葉で表現する能力を養う。

時	授　業　内　容
1	1．論理学とは
2	2．論理的な思考の仕方 ・論証について
3	・論証の形式（演繹）
4	・論証の形式（帰納）
5	3．文章の構造と組立 ・接続詞（順接）
6	・接続詞（逆説）
7	・パラグラフ
8	4．文章の書き方 ・論理的な文章を書くとはどういうことか
9	・レポートを書くために（グループディスカッション）
10	・レポートを書くために（文章の形式）
11	5．文章の読み方 ・文章を読むとはどういうことか
12	・文章の批判的読解
13	・要約
14	・要約
15	6．まとめ（４５分）
16	試験（４５分）

授業形態	講義および演習
評価	筆記試験および授業中の課題（レポート含）による評価 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	講師資料
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
物理学	1	30	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
医療現場における様々な現象を科学的に認識し、看護技術に応用できる能力を養う。

時	授　業　内　容
1	ガイダンス 1.　力学―姿勢と動作 ・質点の力学(速度と加速度)
2	・質点の力学(ニュートンの運動法則)
3	・質点の力学(力学的エネルギーの保存則)
4	・質点の力学(無視できない摩擦力)
5	・剛体の力学(トルクとは、剛体のつりあい)
6	・剛体の力学 (重心とその具体的解釈、重心と安定性、看護の場などにみられるトルクとその考え方)
7	2.　熱現象 ・熱現象(熱膨張、比熱と潜熱、熱と仕事、熱の移動と保温)
8	3.　圧力 ・流体(アルキメデスの原理、ベルヌーイの定理)
9	・圧力(気圧、血圧、酸素ボンベ)
10	・圧力(低圧持続吸引、サイフォン、オートクレーブ、体圧と使用する単位)
11	4.　溶液 ・濃度の表し方と物質の溶け方 ・皮下注射や人工透析を行う際に必要な浸透圧の知識
12	5.　電気、音、光 ・看護に必要な電気学(電気に関する基本的知識、感電に関する基本的知識)
13	・音に関する現象 (音波の基本的知識、音の強さと大きさ、ドップラー効果、医療に必要な超音波)
14	・光に関する現象 (光の性質、全反射とファイバースコープ、レンズと眼鏡、光学機器、紫外線、赤外線)
15	まとめ（４５分）
16	試験（４５分）

授業形態	講義
評価	筆記試験および授業中の課題による評価 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	系統看護学講座　基礎分野　物理学　医学書院 完全版 ベッドサイドを科学する　看護に生かす物理学　学研メディカル秀潤社
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
情報科学	1	30	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
ICT（情報通信技術）を取り入れながら、看護実践に活かすための方法について学ぶ。 情報とは何かを知り、その活かし方と守り方を学び、パソコンを活用して統計処理を表現したり、プレゼンテーションする能力を養う。

時	授　業　内　容	備考
1	1．情報の定義と特徴 ・情報とはなにか　・情報の特性　・情報の伝達とコミュニケーション 2．社会と情報 ・インターネットのしくみ　・情報社会で求められること	
2	3．保健医療と情報 4．看護と情報 情報社会と看護（情報リテラシー）	
3	5．患者の権利と情報 患者の権利と自己決定への支援 診療情報の開示 6．個人情報の保護 コンピューターリテラシーとセキュリティ	
4	1．パソコンの活用について ・パソコンとは 2．パソコンの基本操作	
5	3．インターネットの活用 ・文献検索方法・オンラインミーティング・クラウド等	
6	4．Excelの活用方法 ・Excelの操作：基本的な入力	
7	・Excelの表計算：計算・関数・グラフ・集計	
8	・Excelの表計算：計算・関数・グラフ・集計	
9	・Excelの表計算：計算・関数・グラフ・集計	
10	5．Wordの活用方法 ・文書作成ソフトの操作方法	
11	・文書作成ソフトの操作方法（図・表の挿入） ・資料作成演習	
12	6．効果的なプレゼンテーション ・プレゼンテーションソフト（パワーポイントの操作） 効果的なスライド作成方法、プレゼンテーション方法	
13	・プレゼンテーションソフト（パワーポイントの操作） 応用編（フォントのルールや発表方法） ・学生のプレゼンテーションの講評	
14	7．パソコンの活用から効果的なプレゼンテーション	
15	・パソコンの活用から効果的なプレゼンテーション	（４５分）
16	試験	（４５分）

授業形態	1～６時：講義および演習　　７～15時：講義およびＰＣ操作
評価	筆記試験および授業中の課題による評価 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする
テキスト	
その他	教室は情報科学室を使用

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
統計学	1	15	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
統計を中心に情報処理を学び、研究への活用、量的・質的研究論文を理解する能力の基礎を養う。 パソコンを活用し、データの整理、基本統計量の求め方、グラフなどの統計処理を表現する能力を養う。

時	授　業　内　容	備　考
1	1．ガイダンス　統計学とは 記述統計学1(尺度、度数分布表とヒストグラム)	
2	2．記述統計学2(代表値、分散、標準偏差)	
3	3．記述統計学3(正規分布、標準正規分布)	
4	4．推測統計学1 (母集団と標本、推定(点推定と区間推定)、統計的仮説検定)	
5	5．推測統計学2(t検定)	
6	6．推測統計学3(カイ二乗検定、F検定)	
7	7．2次元データ分析 (相関分析(散布図、分割表、共分散、相関係数の推定と検定)など)	
8	試験	(４５分)

授業形態	講義および演習
評価	筆記試験および授業中の課題による評価 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	医療・看護のためのやさしい統計学【基礎編】 東京図書 系統看護学講座　別巻　看護研究　医学書院
その他	教室は情報科学室を使用

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
生活科学	1	30	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
人間の日常生活を構成する生活環境に視点を当て、高齢化社会に対応した安全で快適な生活環境のあり方について学ぶ。

時	授　業　内　容	備　考
1	生活科学とはー生活科学の概念 １）生活科学と周辺学問（健康・医療との関係） ２）居住福祉と居住の権利	
2	「住まい」とは何か	
3	生活行為と生活空間 １）起居様式（生活様式）	講義・演習
4	生活行為と生活空間 ２）和と洋の暮らし ３）住まいの形式	
5	生活行為と生活空間 ４）心地よい住まい（環境：快適性、衛生性）	
6	生活行為と生活空間 ５）住まいと健康	
7	生活行為と生活空間 ６）住まいの防災・防犯	
8	生活行為と生活空間 ７）住宅内事故（家庭内事故）	
9	住まいとライフステージ １）発達段階と住まい	
10	住まいとライフステージ ２）高齢者と住宅内事故	
11	住まいとライフステージ ３）高齢者と住まい	
12	住生活空間の改善と地域ネットワーク 住宅改善、地域生活（たすけあいのための地域ネットワーキング、育児ネットワーキング）	
13	住生活空間の計画 ・事例展開：問題点と解決策	演習（個人ワーク／グループワーク）
14	住生活空間の計画 ・事例展開：問題点と解決策　発表	演習（グループワーク）
15	まとめ	
16	試験	

授業形態	講義
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第６条、第７条に定めるとおりとする。
テキスト	中根芳一編著　私たちの生活科学（第2版）　オーム社
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
生物学	1	30	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
生物の生態・形態及び生理、特に発生及び遺伝学との関連と生命現象について学ぶ。

時	授　業　内　容
1	生命の誕生、生命体の歴史
2	遺伝物質の本体
3	DNA、RNAの働き
4	DNA配列の分析
5	遺伝子工学、遺伝子組み換え
6	ウイルス、細菌
7	細菌の特性
8	真核生物とは
9	細胞膜の働き
10	リボソームの働き、DNAからタンパク質
11	小胞体、ゴルジ体の働き
12	リソソーム、ミトコンドリアの働き
13	細胞分裂、減数分裂
14	細胞周期、性染色体、伴性遺伝
15	染色体異常（４５分）
16	試験（４５分）

授業形態	講義
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	講師資料
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
心理学	1	30	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
行動の基礎にある心の働きやしくみについて学び、自己の理解および看護の対象を理解するためのアプローチの方法を養う。

時	授　業　内　容
1	1．心理学の概念 ・心理学の対象　・領域
2	・歴史と方法（心理学の成立）
3	・歴史と方法（心理学の方法）
4	2．「ヒト」の認知行動 ・行動の生理学的基盤　・感覚と知覚
5	・感覚と知覚
6	・感覚と知覚（運動含む）
7	・記憶（記憶の種類）
8	・記憶
9	・学習
10	・思考と言語
11	・情動と動機づけ（情動）
12	・情動と動機づけ（動機づけ）
13	・社会行動（対人行動・集団過程）
14	3．生涯発達 ・認知的発達
15	・心理的・社会的発達（４５分）
16	試験（４５分）

授業形態	講義
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	心理学への招待―こころの科学を知る（新心理学ライブラリ1）改訂版　サイエンス社
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
人間関係論	1	30	2	2学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
人々の心の働きやコミュニケーションをシステミックな人間関係の相互作用から学び、自己の理解および看護の対象を理解するためのアプローチの方法を学ぶ。

時	授　業　内　容	備考
1	1.人間関係の中の自己と他者 1)人間関係論とは 2)自己認知 3)対人認知	
2	2.対人関係と役割 1）対人関係の成立　2）対人関係の維持と崩壊 3）対人葛藤と対処　4）社会的役割	
3	3. 態度と対人行動 1）態度と態度変化　2）説得的コミュニケーション 3）攻撃　4）援助	
4	4. コミュニケーション 1）コミュニケーションとは　2）対人コミュニケーション 3）マスコミュニケーション　4）ICTの発達とコミュニケーション	
5	5. コーチング １）コーチングの理論とスキル ２）看護への応用	
6	6. 人間関係の作り方 1）自己理解 2）他者理解 3）グループでの活動（チームビルディング等）	（演習）
7	6. 人間関係の作り方 4）自己表現・他者にあたえる影響（ロールプレイもしくはミッションクリア） 5）自己の振り返り	（演習）
8	授業のまとめ（４５分）	
9	7. 心理療法 ・対人援助としての心理療法とは	
10	・対人援助技術の原則（ロジャースとバイスティック） ・カウンセリング諸理論	
11	・人間関係と精神療法	
12	8. 演習 ・カウンセリングの実際①（ロールプレイング）	（演習）
13	・カウンセリングの実際②（関わり行動：感情＜共感＞と質問法）	（演習）
14	・カウンセリングの実際③（コミュニケーションのいろいろ）	（演習）
15	・カウンセリングの実際④（まとめのロールプレイ）	（演習）
16	試験（４５分）	

授業形態	講義および演習
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	人間関係論（医学書院）
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
哲学	1	15	3	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
生命倫理の諸問題を通して、人間とは、生きるとは、生命とは何かという根源的なテーマについて自ら考える。

時	授　業　内　容
1	1．伝統的な医の倫理から新しい医の倫理へ
2	2．患者の権利
3	3．生命維持治療の拒否と差し控え
4	4．安楽死
5	5．脳死と臓器移植
6	6．人工妊娠中絶
7	7．生命（いのち）の選別
8	試験（４５分）

授業形態	講義
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	講師資料
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
社会学	1	30	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
社会と個人、個人と個人がどのようにかかわりあっているかを自分たちの身近な事例から学び理解する。 そのうえで、社会学的な視点が看護という仕事にどのように活用することができるかについて考える。

時	授　業　内　容
1	イントロダクション―社会とは何か、社会学とは何か
2	「行為」の意味解釈
3	自己と社会
4	演技する社会
5	人との距離
6	イメージと作られる現実
7	趣味と序列
8	映像から学ぶ社会学的視点
9	文学から学ぶ社会学的視点
10	科学の進歩と幸福
11	権力論①
12	権力論②
13	医療と社会学①
14	医療と社会学②
15	授業のまとめ（４５分）
16	試験（４５分）

授業形態	講義
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	岩本茂樹，『自分を知るための社会学入門』中央公論新社、講師資料
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
教育学	1	30	2	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
物事を理解し、人を指導・教育するために必要な基礎を学び、それを通して看護を考えることができる素地を養う。

時	授　業　内　容
1	看護と教育　―　オリエンテーション
2	看護と現代社会　―　少子高齢化
3	教育の本質　―「学ぶ」ことの再確認
4	教育の本質　―「教える」ことの再確認
5	患者教育　―　看護師の関わり方
6	学校教育の機能と看護①　―　学校制度と医療の関わり
7	学校教育の機能と看護②　―　障害児・病弱児教育
8	学校教育の機能と看護③　―　発達障害
9	保育と看護　―　病児・医療的ケア児
10	学校保健　―　がん教育を例に
11	思考を口頭で表現する　―　スピーチの実践
12	思考を文章で表現する　―　レポート作成
13	「死について」の教育　―　「人が亡くなる」ことの意味
14	「死について」の教育　―　子どもの死・親の死を巡って
15	まとめ　―　学び続けていくために（45分）
16	試験（45分）

授業形態	講義
評価	筆記試験および授業中の課題 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	系統看護学講座　基礎分野　教育学　医学書院
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
多文化理解	1	15	1	２学期	非常勤講師

授　　業　　の　　ね　　ら　　い
多文化への関心を高め、国際化への対応の基礎として、文化的背景の異なる人々とどのように接していけばよいのかについて主体的に考える態度を養う。具体的に、各トピックの内容を理解し、自分とは違う価値観をもつ人々やあまりなじみのない環境から来た人々と共に生きる社会において何が自分に求められるかをクラスメートと互いの意見を交換しながら考える。

時	授　業　内　容	備考
1	1）異文化間ソーシャルスキル	
2	2）寛容性	
3	3）アサーション・トレーニング	
4	4）ビジネスでの異文化接触	
5	5）「日本人」・「外国人」	
6	6）マイクロ・アグレッション、マイノリティとマジョリティ	
7	7）ユニバーサルデザイン、ステレオタイプ、まとめ	
8	試験	（４５分）

評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第６条、第７条に定めるとおりとする。
テキスト	多文化社会で多様性を考えるワークブック　（研究社）
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
看護英語	1	30	3	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
医療現場において必要とされる語学力を学ぶ。 １．英文の正しい読解法 ①英文法の再確認 ②長文の構造と和文の技法 ２．医療英語に関する理解

時	授　業　内　容
1	「英文を理解するために」 １．Allergy
2	２．Respiratory System
3	３．Gastrointestinal System
4	４．Urinary System
5	５．Life-style Related Disease
6	６．Psychiatry
7	７．Infections
8	８．Endocrine System
9	９．Reproductive System
10	１０．Cardiovascular System １１．Cranial Nerve
11	１２．Musculoskeletal System １３．Abuse
12	１４．Advances of Medical Science
13	１５．Radiotherapy
14	授業の振り返り
15	授業の振り返り（４５分）
16	試験（４５分）

授業形態	講義
評価	筆記試験 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	学生のためのカレントメディカルイングリッシュ（第4版）医学書院
その他	

【基礎分野】

科　　目	単位	時間数	配当年次	学期	担　当　者
保健体育	1	30	1	1学期	非常勤講師

授　業　の　ね　ら　い
身体活動を通して、基礎体力の向上を図る。あらゆる人々の健康の保持増進のために、人間にとっての健康づくりと運動の関連と、身体機能の活用について学ぶ。そして、チームワークを必要とする種目を通して、メンバーシップ・リーダーシップについて学ぶ。

時	授　業　内　容
1	オリエンテーション W-UP-筋トレ～ストレッチ～ソフトバレー（円陣パス）
2	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(オーバー&アンダーパス、パス練習、円陣パス)
3	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(サーブレシーブ、サーブ、パス練習)
4	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(サーブレシーブ、アタック)
5	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(ゲーム)
6	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(ゲーム)
7	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(ゲーム)
8	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ バトミントン（ラリー）
9	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ バトミントン/卓球
10	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ バトミントン/卓球
11	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ バトミントン/卓球（ゲーム）
12	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ バトミントン/卓球(ゲーム)
13	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(ゲーム)
14	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー(ゲーム)
15	W-UP～リズム～筋トレ～ストレッチ ソフトバレー　＊最終日：レポート課題

授業形態	実技
評価	実技試験および授業中の実技・課題 他の事項については履修規程の第6条、第7条に定める通りとする。
テキスト	なし
その他	